



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム  
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 谷井 剛  
(氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	10,115	12.7	454	1.4	483	12.1	312	32.2
27年3月期第3四半期	8,972	△0.6	448	46.8	431	45.1	236	17.8

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 313百万円 (32.3%) 27年3月期第3四半期 237百万円 (18.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	18.71	—
27年3月期第3四半期	14.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
28年3月期第3四半期	6,639	—	1,911	—	28.6	—	113.77	
27年3月期	5,592	—	1,848	—	32.9	—	110.05	

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 1,899百万円 27年3月期 1,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	13,600	9.8	630	8.3	650	14.5	430	40.9	—	25.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	16,693,200 株	27年3月期	16,693,200 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	16,693,200 株	27年3月期3Q	16,693,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による成長戦略や質的・量的金融緩和の継続を背景に企業収益の向上・雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が見られるものの、中国経済の減速やヨーロッパにおける難民問題などの不安要素があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの中核的な事業領域である情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」・「AmaVo」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックス及びタクトシステム㈱においては、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が101億15百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益が4億54百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益が4億83百万円（前年同四半期比12.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億12百万円（前年同四半期比32.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」では、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、新サービスである「iSmartひかり」及び「AmaVo」の契約獲得が順調に伸びる一方、契約獲得に伴う先行コストが増加したこと等により、売上高は69億2百万円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント利益は1億5百万円（前年同四半期比29.7%減）となりました。

#### 《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」では、印刷及び商業印刷物の企画・制作等を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、受注単価が減少傾向である一方、大型案件の受注増加とコスト削減に努めること等により、売上高は13億96百万円（前年同四半期比18.3%増）、セグメント利益は2億14百万円（前年同四半期比71.0%増）となりました。

#### 《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」では、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、主に㈱保険ステーションの一人当たりの営業効率の向上による売上高拡大と保険業法改正に対応するコストが増加したこと等により、売上高は18億15百万円（前年同四半期比15.6%増）、セグメント利益は1億48百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は66億39百万円となり、前連結会計年度末比10億47百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加（1億98百万円）、前払費用の増加（2億47百万円）、未収入金の増加（2億84百万円）及び長期前払費用の増加（2億91百万円）によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は47億27百万円となり、前連結会計年度末比9億84百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加（46百万円）及び借入金の増加（6億38百万円）によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における非支配株主持分の残高は12百万円となりました。また、純資産の残高は19億11百万円となり、前連結会計年度末比63百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	858,203	1,057,084
受取手形及び売掛金	1,926,489	1,971,751
商品及び製品	34,956	45,938
仕掛品	64,020	72,056
原材料及び貯蔵品	28,536	31,690
前払費用	654,131	901,942
未収入金	492,163	776,534
その他	207,251	218,675
貸倒引当金	△13,746	△29,802
流動資産合計	4,252,006	5,045,871
固定資産		
有形固定資産	142,880	118,760
無形固定資産		
のれん	51,669	36,578
その他	126,962	146,641
無形固定資産合計	178,631	183,220
投資その他の資産		
長期前払費用	803,627	1,095,626
その他	259,477	266,809
貸倒引当金	△44,529	△70,362
投資その他の資産合計	1,018,574	1,292,073
固定資産合計	1,340,086	1,594,053
資産合計	5,592,092	6,639,924
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,296,221	1,342,284
短期借入金	566,350	1,305,000
未払金	1,059,325	1,063,946
未払法人税等	73,542	118,778
賞与引当金	80,245	61,835
役員賞与引当金	51,750	50,603
その他	383,434	652,240
流動負債合計	3,510,869	4,594,689
固定負債		
長期借入金	100,000	—
退職給付に係る負債	113,832	126,457
その他	18,893	6,816
固定負債合計	232,726	133,273
負債合計	3,743,595	4,727,963

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,252,441	1,314,441
株主資本合計	1,837,149	1,899,149
非支配株主持分	11,347	12,812
純資産合計	1,848,497	1,911,961
負債純資産合計	5,592,092	6,639,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,972,859	10,115,374
売上原価	6,702,297	7,009,083
売上総利益	2,270,561	3,106,290
販売費及び一般管理費	1,822,336	2,651,576
営業利益	448,225	454,714
営業外収益		
受取利息	205	157
違約金収入	17,670	51,411
その他	5,620	6,431
営業外収益合計	23,495	58,000
営業外費用		
支払利息	9,541	10,832
持分法による投資損失	29,217	1,891
貸倒引当金繰入額	—	14,067
その他	1,707	2,543
営業外費用合計	40,466	29,335
経常利益	431,254	483,379
特別利益		
固定資産売却益	—	213
持分変動利益	9,728	—
特別利益合計	9,728	213
特別損失		
固定資産売却損	156,278	—
固定資産除却損	827	1,735
減損損失	5,424	380
その他	16,238	—
特別損失合計	178,768	2,116
税金等調整前四半期純利益	262,214	481,476
法人税、住民税及び事業税	46,329	153,617
法人税等調整額	△21,372	13,996
法人税等合計	24,957	167,614
四半期純利益	237,257	313,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,018	1,464
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,238	312,397



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	237,257	313,862
四半期包括利益	237,257	313,862
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,238	312,397
非支配株主に係る四半期包括利益	1,018	1,464

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP&Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,213,672	1,180,706	1,570,896	8,965,275	7,583	8,972,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,767	8,209	4,343	30,319	—	30,319
計	6,231,439	1,188,916	1,575,240	8,995,595	7,583	9,003,179
セグメント利益	150,004	125,648	185,418	461,071	3,159	464,230

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産管理事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	461,071
「その他」の区分の利益	3,159
セグメント間取引消去	△914
のれんの償却額	△15,090
四半期連結損益計算書の営業利益	448,225

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において5,424千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	IP&Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,902,680	1,396,890	1,815,803	10,115,374	—	10,115,374
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,418	11,130	5,024	37,573	—	37,573
計	6,924,098	1,408,020	1,820,827	10,152,947	—	10,152,947
セグメント利益	105,473	214,837	148,901	469,212	—	469,212

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、従来、不動産管理事業を含んでおりましたが、前連結会計年度中に不動産管理事業の対象物件を売却したため、当第3四半期連結累計期間において該当する事業はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	469,212
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	592
のれんの償却額	△15,090
四半期連結損益計算書の営業利益	454,714

3. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP&Mobileソリューション事業」セグメントにおいて遊休資産の減損処理を行っております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において380千円であります。